平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会

第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体

平成20年7月30日(水)　　二回戦

Jコート　第3試合　　本庄市児玉総合公園体育館(エコーピア)

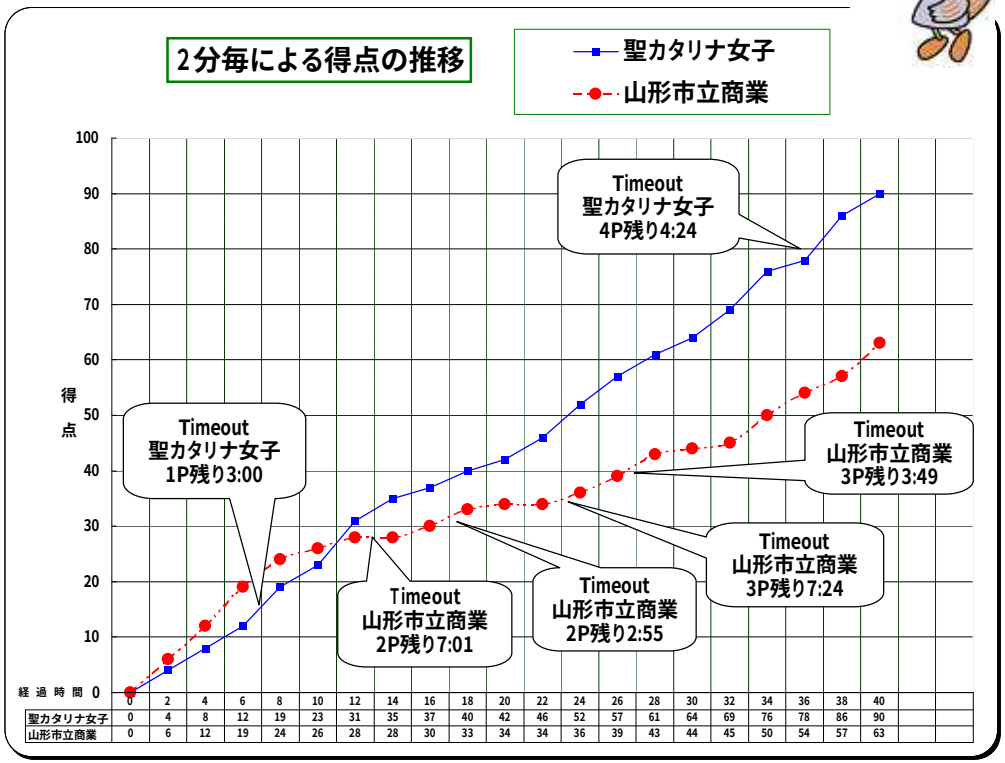
チームA			チームB
聖カタリナ女子 愛　媛	90	23 － 26 19 － 8 22 － 10 26 － 19 －	63	山形市立商業 山　形

聖カタリナ女子

番号	氏名	出場	得点	3P 成功	3P 試行	2P 成功	2P 試行	FT 成功	FT 試行	反則	リバウンド OF	リバウンド DF	TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
4	阿部　幸音	X	21	0	5	10	14	1	2	3	4	3	1	5	3	1	38
5	山村　亜衣	／	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
6	濱口　京子	X	21	0	1	9	15	3	5	2	1	10	5	1	2	0	36
7	樋口　実紀子	／	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
8	二宮　美里	／	2	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3
9	大森　彩乃	X	7	1	3	2	7	0	0	0	2	6	0	1	1	0	37
10	倉瀬　美樹	／	2	0	0	1	2	0	0	0	0	2	0	0	1	0	4
11	苗田　未来	X	25	4	4	5	7	3	4	2	5	7	0	2	0	1	37
12	村上　直子	／	0	0	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	1	0	6
13	伊藤　瑛里	X	12	3	8	1	1	1	2	1	0	2	2	0	2	0	34
14	山本　有茄		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	小澤　美咲		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
コーチ	一色　建志									0	1	3					
出場:×は先発、／は出場			90	8	23	29	51	8	13	9	14	34	9	10	10	2	200
			確率	34.8%		56.9%		61.5%			計	48					

山形市立商業

番号	氏名	出場	得点	3P 成功	3P 試行	2P 成功	2P 試行	FT 成功	FT 試行	反則	リバウンド OF	リバウンド DF	TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
4	大沼　美咲	X	18	1	6	7	12	1	3	2	5	9	7	2	1	1	40
5	山川　華奈	X	21	5	9	3	11	0	0	0	0	3	1	0	0	0	40
6	吉田　彩奈	／	6	0	0	3	4	0	0	4	5	2	3	1	0	1	25
7	佐藤　綾香	X	1	0	0	0	0	1	2	1	3	2	0	1	0	0	23
8	佐藤　綾美	X	15	0	0	7	15	1	2	2	2	2	3	1	1	0	38
9	武田　灯	X	2	0	0	1	1	0	0	2	1	0	0	0	4	0	24
10	小野　夏希		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11	日下部　澪		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
12	加藤　千尋	／	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	2	0	2	0	10
13	佐竹　美咲		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14	後藤　由喜		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	横山　史佳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
コーチ	高橋　仁									0	2	4					
出場:×は先発、／は出場			63	6	15	21	44	3	7	11	18	24	16	5	8	2	200
			確率	40.0%		47.7%		42.9%			計	42					



経過時間	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40
聖カタリナ女子	0	4	8	12	19	23	31	35	37	40	42	46	52	57	61	64	69	76	78	86	90
山形市立商業	0	6	12	19	24	26	28	28	30	33	34	34	36	39	43	44	45	50	54	57	63

戦評

昨年のウィンターカップベスト4のメンバーが残り、四国大会をすべて30点以上の差で制した優勝候補の聖カタリナ女子と東北大会ベスト4、U－18代表の＃4大沼を中心に速攻を身上とし上位を狙う山形市立商業の対戦は、第1P、両チームハーフコートマンツーマンでスタート。山形市立商業＃4大沼が攻守の中心となり、リバウンド、シュートを決めている。聖カタリナ女子は＃6濱口のインサイドのプレーで、お互い一進一退で26対23、山形市立商業リード。第2Pは、聖カタリナ女子のディフェンスが良く山形市立商業＃4大沼が思うようにボールが持てないため、得点できない。聖カタリナ女子はリズムができて、逆転につながり、42対34、聖カタリナ女子リードで前半終了。第3P山形市立商業3－2ゾーンでスタート、聖カタリナ女子のインサイドに対して、ディフェンスを変え、流れを切ろうとするが、聖カタリナ女子の＃11苗田、＃4阿部の連続シュートを確実にものにし勢いづく。山形市立商業＃4大沼をしっかりマークして、第2P、第3Pと、0点に抑えているため、得点にならない。第4Pも聖カタリナ女子のリズムのいい攻撃が目立ち、差が広がる。総合力の聖カタリナ女子が、インサイド、アウトサイドで山形市立商業をリードした。山形市立商業は固いディフェンスを破ることができず90対63で聖カタリナ女子の勝利。

主審	山田　巧	副審	細田　智宏	戦評	岩田　信一 (埼玉県高体連)

3P：スリーポイントシュート、2P：2ポイントシュート、FT：フリースロー、OF：オフェンス、DF：ディフェンス、TO：ターンオーバー、ST：スティール、AS：アシスト、BS：ブロックショット